入札監理小委員会における審議結果報告 「農林業職場定着支援事業（林業就業支援事業）」

1. 事業の概要

(1) 事業の概要

○ 事業概要及び事業の目的

本事業は、林業求職者に対して、①事前に林業に関する十分な情報と知識を付与する講習等の事業（林業就業支援講習）を実施するとともに、②就職相談等の支援を行い、併せて③就職先となる林業事業体の雇用管理の改善を支援する事業を一体的に行うことにより、林業の新規就業の促進と職場定着を図り、林業労働力の確保に資することを目的とするものである。

○ 事業期間

事業期間は1年間（平成31年4月2日から平成32年3月31日まで）であり、市場化テスト1期目である。

(2) 選定の経緯

1者応募が継続しており競争性に課題が認められる事業として、公共サービス改革基本方針（平成30年7月10日閣議決定）別表において、新規事業として選定された。

2. 市場化テストの実施に際して行った取組について

○ 情報開示の充実

市場化テスト前においては、経費及び実施体制に係る情報が開示されておらず新規事業者の参入障壁となりうることから、経費及び実施体制のみならず、従来のスケジュールや実施したアンケート等を開示することにより、競争性の改善を図った（資料2-2別紙3）。

○ 達成すべき質の設定

市場化テスト前は、達成すべき質の設定がなく、アウトカムが抽象的であったことから、定量的・客観的な達成すべき質を設定し、アウトカムを明示した（資料2-2第2-4（16頁））。

○ 業務内容等の明確化

業務内容と納品物が複数ページにわたって記載されており複雑化していたことから、一覧表とすることで明確化した（資料2-2別紙1）。

3. 実施要項(案)の審議結果について

【ご指摘】	【対応】	
質の設定は、義務か努力目標か。特に「最低限度の水準」との記載は、義務に読めることから、	項目名について「事業の質の設定」から、「事業の実施により確保されるべき質の設定」に変	1頁、 16頁

事業者にいずれか分かるように記載を検討されたい。	更。また、「最低限度の水準」との記載は削除し、努力目標であることが分かりやすいよう記載を見直し。	
受講者数を達成すべき質に含めるか検討されたい。	支援講習の受講者数及び雇用管理研修会の開催数を質の項目に追加。 ・支援講習の対象者数：1000人以上 ・雇用管理研修会の開催数：各地域ブロックで2回以上かつ全国で45回以上	16 頁
別紙3の「従来の実施に要した経費」について、最低価格落札方式を採用する場合、予定価格の推測につながることから開示しないほうが良いのではないか。	本事業の執行額は、行政事業レビューにて百万円単位で開示、事業者が調べればすぐに判明することであるため、記載を維持。 ただし、行政事業レビューと同様、百万円単位の記載に変更。	別 紙 3
従前の資料及び実施状況について、閲覧の機会があることを明記すべき。	現行HPのURLを明記するとともに、従来の実施状況について閲覧の機会があることを明記。	11 頁、21 頁
都道府県労働局及びハローワーク等との連携及び協力を求めているが、新規参入者からすれば不安が大きいところと思われる。連携について厚生労働省でフォローする旨明記されたい。	ご指摘を踏まえ、「労働局及びハローワーク等との連携及び協力に関し疑義等が生じた場合は、適宜、農山村室あて相談することとし、農山村室は、必要な調整及び指導を行うものとする」と明記。	12 頁

4. パブリックコメントへの対応

平成30年11月13日から同月27日までの間、電子政府の総合窓口(e-Gov)に掲載することを通じて意見募集(パブリックコメント)を行い、2者から意見等が寄せられたため、字句等の修正を行った。

以上